

## <今までの議論と分析結果>

生活圏域が大井町以外の意識調査 生活圏域が大井町内の意識調査 大井フェスタ・ジャック討論会での論議 分科会メンバーによるKJ法での分析に基づく方向性の見出し。

### <大井町以外の視点>

大井町の位置づけに関して、地域内外の情報発信が不足している。その為に「関心」や「興味喚起」が行われていない。また「JR京浜東北線の線路による東西分断」により街がわかりにくい。

- 知っているが、詳しくはわからない。
- ノスタルジックを感じる街。

(課題) ●大井町情報の認知不足

### <大井町内の視点>

基本的に物質的に恵まれているため町自体に大きな問題点や課題は露出しない。しかし、より「誇れる」ための精神的充実感を求める傾向が存在している。その為には、人と人がつながる環境としての「場」が必要となる。

- 綺麗で安全な町が必要(若い女性が来たい町 etc)
- 分散する賑わい(それぞれが勝手にやっている。人口が増え自由すぎる etc)
- 特徴のない町(名物、名産のない町 etc)
- 交通は整っているが、中心が分からない。

(課題) ●コミュニティによる共生社会(賑わいの演出)  
●世代老若男女、生活空間を超えたコミュニティ(共生)

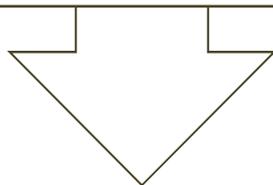
## <課題に対する目標の設定>

テーマ | コミュニティあふれる賑やかなまちづくり

目標 | 大井地域の住民、勤務者、来街者が、大井町を中心に多くの人が交流できる環境や場が有り、それぞれが「自分らしい豊かな生き方や生活を送る事ができる町を創出する。

キーワード |

- コミュニティがあふれると、「安心・安全」なまちができる。
- コミュニティがあふれると、「自己表現」できるまちができる。
- コミュニティがあふれると、「毎日楽しく過ごす」ことができるまちができる。



大井地域の特性を活かした持続可能な社会システムの構築に基づくまちづくり

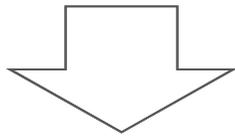
## <課題に対する具体解決策>

- 大井町のランドマーク(中心地)設定と創出
- 賑わいを共有できる社会環境事業参画と創出

## 大井町のコンセプト

Identity

大井地域の特性を活かした持続可能な社会システムの構築に基づくまちづくり

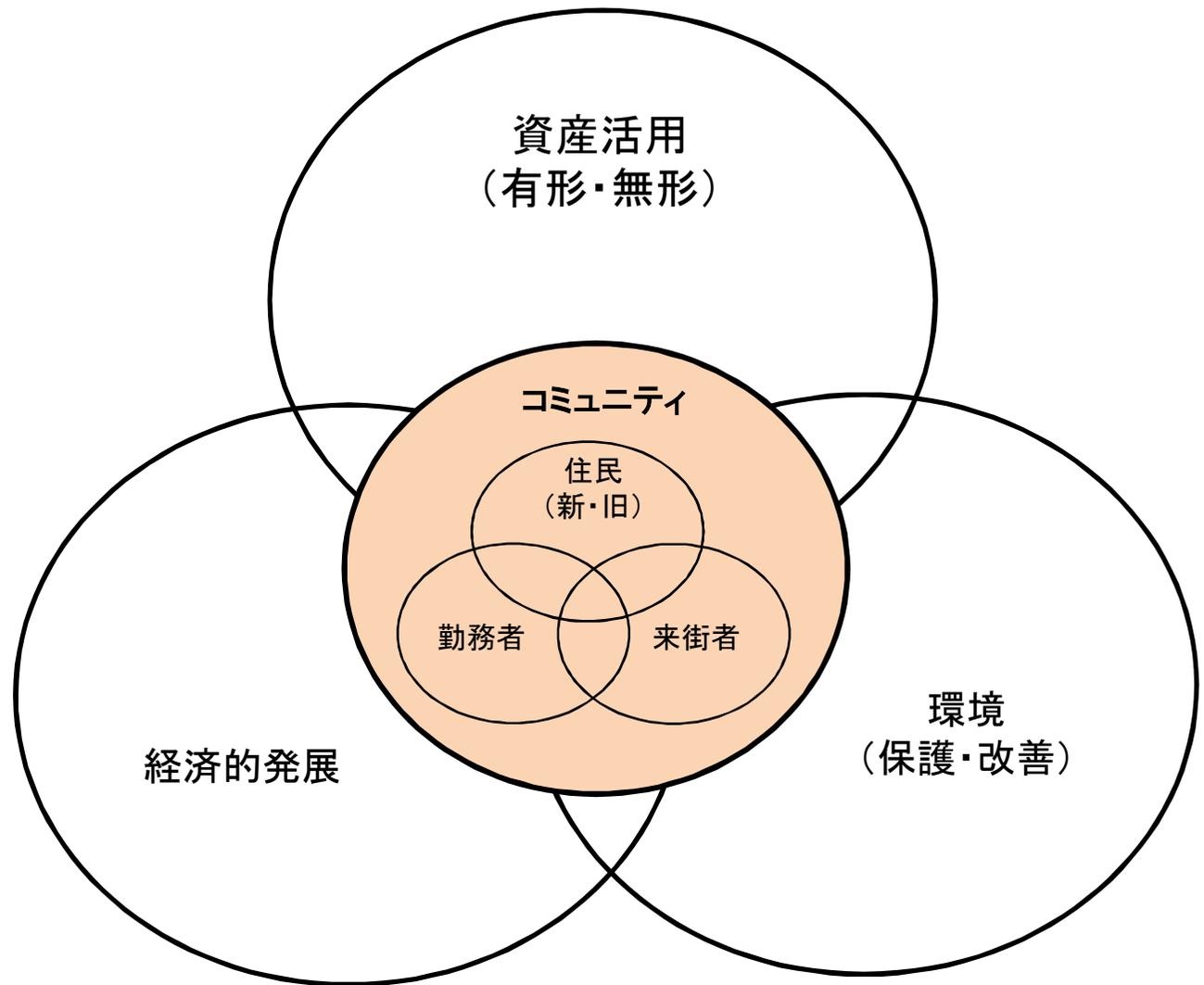


コミュニティの形成

- 中心となる場所づくり  
→大井どんたく通りの開発
- 中心となる環境づくり  
→賑わいが産まれるソフトづくり
- 中心となるリーダーづくり  
→持続可能なシステムづくり

新年度に協議会を設立して実現化を図る。

## 大井地域の特性を活かした持続可能な社会システムの構築に基づくまちづくりスキーム



## <課題に対する目標の設定>

テーマ | 大井地域の特性を活かした持続可能な社会システムの構築に基づくまちづくり

目標値 | 大井町を中心に多くの人が交流できる環境や場が有り、それぞれが「自分らしい豊かな生き方や生活を送る事ができる町を創出する。」

### <コミュニティづくりの基軸施策>

スポーツ・文化・健康をキーワードとした事業を展開し、住民・勤務者・来街者が積極的に参加する。

- コミュニティ形成のためには「健康」が重要
- 老若男女が参加できる企画
- 資金調達のために企業協賛ができる企画
- 健康維持、増進のために飲食業との連動企画

(具体案)

- 大井フェスタ&大井どんたく
- スポーツGOMI拾い事業(環境美化への行動変容)  
街の環境保全を維持する。
- スポーツ鬼ごっこ事業(全国大会やワールドカップの拠点)  
全国(世界)に大井町の位置づけを広める。
- スポーツアカデミー事業(アスリートの協力)  
様々な協力を得て楽しんで学べる環境を育む
- 大井町サミットの開催(共通連携)  
大井町スタイルを全国の大井町へ伝承する。

### <コミュニティづくりの応用施策>

コンセプト | スポーツ・文化など「健康(心身)」をキーワードとした事業に連動する事業を画策する。

- 文化芸術をキーワードにした事業
- 環境保護・改善をキーワードにした事業
- 防犯・防災をキーワードにした事業
- モラル改善をキーワードにした事業

スポーツ・文化をベースにした「健康」が感じられる街の位置づけ。

### <コミュニティの「場」づくりの施策>

地域資源を再整備する。

↓  
大井町の中心にランドマークを設置する。

「大井町駅中央通り(通称どんたく通り)」を大井町のランドマークにする。

多くの人がコミュニティが行える空間演出を行う。

(どんたく通りの位置付け)

- 交通量の少ない環境を利用
- 歩道幅を広げ、様々な事業が行われる環境をつくる。
- 情報発信や人々が集える場所、基幹ベースの建設。



多くの人々がランドマークに集える安心安全な街の位置づけ。

### <コミュニティの「場」を広げる施策>

多くの人が大井町を利用して賑わう、「場」と連動したまちづくりの可能性

コミュニティづくりの施策と場づくりの施策に基づいて、大井地域全体への人を回遊性を促進するため、様々な施策を構築する。

- 半日滞在し楽しめる街

(具体案)

- 食文化を活用した事業
  - ・話題性と実施効果のある企業とのタイアップによる飲食店の育成と集客促進。
  - ・健康をキーワードとした飲食店のメニュー開発(バル企画)
  - ・地域で働く企業従業員の健康管理を行う「大井町社員食堂」(既存店との連携)の事業企画。

→コミュニティ観光資源を活用した事業

- ・分かりやすい街歩き手法(サイン計画やデジタルサイネージ)現状の観光資源は価値観が不十分なので何らかの手だてが必要。

→キャラクターを活用した事業

- ・一目で大井町と認識できる集客拠点整備。
- ・サンリオ(品川区本社)の協力和情報発信

大井町駅中央通りを基軸に町への回遊性を広げる。→半日遊べる(楽しめる)町

多くの人々がランドマークで連動し、共生できる街の位置づけ。